

水底みなぞこに群れ、水面みなもに集う

令和6年2月17日(土)～4月14日(日)



小林 恒岳「越寒」
昭和58年(1983)
茨城県近代美術館蔵

【展覧会概要】 (資料2～3ページ参照)

この度、天心記念五浦美術館では魚、水鳥などの水棲生物へ注がれる画家たちの眼差しをたどる展覧会を開催いたします。

身近な魚類や目にする機会の多い水鳥などは、日本美術において、古くから画題となってきましたが、明治時代以降は水族館の実現、また写真や映像技術の発達などによる新しい視覚体験により、画家たちは更なる多様な水棲生物を描きました。一方で、近代工業の発展と都市開発は人間の生活から自然を遠ざけました。失われていく自然の中でたくましく生きる生物に対して、画家たちは特別な眼差しを注ぎ、ときに畏敬の念すら抱いています。

本展では、茨城県近代美術館の所蔵作品を中心に、横山大観や木村武山など五浦の作家をはじめ、河童など自然の中に住む精霊たちを描いた小川芋銭、霞ヶ浦とそこに育まれる生命を描き続けた小林巢居人・恒岳などによる日本画を展示します。

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:木澤 沙羅(きざわ さら)／広報担当:大津 友美(おおつ ゆみ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

【開催概要】

- 1 展覧会名 企画展「水底みなぞこに群れ、水面みなもに集う」
- 2 会 期 令和6年2月17日〔土〕～4月14日〔日〕
休 館 日：月曜日
開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）
- 3 会 場
茨城県天心記念五浦美術館 展示室A
- 4 主催
茨城県天心記念五浦美術館
- 5 入館料
一般320(260)円／満70歳以上160(130)円／高大生210(150)円／小中生150(100)円
※()内は、20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証等をご持参の方
および付添いの方1名は無料
※2月17日(土)は満70歳以上の方無料
※3月30日(土)を除く土曜日は高校生以下無料
- 6 出品数
日本画24点
- 7 主な出品作品

横山 大観	「秋」	明治32年頃(c. 1899)	茨城県近代美術館蔵
木村 武山	「鷺図」	大正3～4年(1914-15)	個人蔵
小林 巢居人	「鮎」	昭和24年(1949)	茨城県近代美術館蔵
小川 芋銭	「水魅戯 <small>すいみたわむる</small> 」	大正12年(1923)	茨城県近代美術館蔵
小林 恒岳	「越寒」	昭和58年(1983)	茨城県近代美術館蔵
齋藤 彰男	「悠」	平成17年(2005)	茨城県近代美術館蔵
松岡 歩	「群生」	平成26年(2014)	茨城県近代美術館蔵
木下 千春	「渦巻く」	平成31年(2019)	茨城県近代美術館蔵

8 本展のみどころ

- (1) 魚、水鳥などの水棲生物を描いた日本画 24 点を紹介します。茨城の田園や水郷、そこに育まれる命を描いた小林巢居人・恒岳親子の作品からは、水辺の生き物を愛した二人のあたたかな眼差しが伝わります。
- (2) 牛久ゆかりの小川芋銭は、河童など自然の中に住む精霊たちをユーモラスに描いた画家です。本展では、代表作の「水魅戯」をはじめ、河童を様々な視点で描いた「河童百図」から厳選した作品など、芋銭の作品計 7 点を紹介します。
- (3) 現在活躍中の作家、木下千春と松岡歩の初公開を含む新作・近作を紹介いたします。木下千春の 4 作品にわたる連作「夜行絵図」は、海底に潜む生き物たちを幻想的に描いた大作です。本展ではこのうち、「夜行」と「間」の 2 作品を紹介します。柔らかな筆致で愛らしい動物を描く松岡歩は、本展のために新作を出品します。初公開となる作品をぜひご覧ください。
- (4) 本展出品作家・松岡歩によるアーティストトークを開催します。作品制作の裏側や作品に込めた思いなどを聞くことができる貴重な機会です。

9 広報文

- (1) 本展覧会は、魚、水鳥などの水棲生物をテーマとした展覧会です。身近な魚類や目にする機会の多い水鳥などは、日本美術において、古くから画題となってきましたが、明治時代以降は水族館の実現、また写真や映像技術の発達などによる新しい視覚体験により、画家たちは更なる多様な水棲生物を描きました。自然の中でたくましく生きる生物に対して、画家たちは特別な眼差しを注ぎ、ときに畏敬の念すら抱いています。
本展では、茨城県近代美術館の所蔵作品を中心に、横山大観や木村武山など五浦の作家をはじめ、河童など自然の中に住む精霊たちを描いた小川芋銭、霞ヶ浦とそこに育まれる生命を描き続けた小林巢居人・恒岳などによる日本画を展示します。(301 文字)
- (2) 本展覧会は、魚、水鳥などの水棲生物をテーマとした展覧会です。茨城県近代美術館の所蔵作品を中心に、横山大観や木村武山など五浦の作家をはじめ、河童など自然の中に住む精霊たちを描いた小川芋銭、霞ヶ浦とそこに育まれる生命を描き続けた小林巢居人・恒岳などによる日本画を展示します。また、現在活躍中の作家、木下千春と松岡歩の初公開を含む新作・近作を紹介いたします。(176 文字)
- (3) 本展覧会は、魚、水鳥などの水棲生物をテーマとした展覧会です。横山大観や木村武山など五浦の作家をはじめ、河童の画家で知られる小川芋銭、霞ヶ浦の生き物を描いた小林巢居人・恒岳などによる日本画を展示します。(113 文字)

10 会期中のイベント

当館HPにて内容の詳細、申込期間をご確認のうえお申込ください。

※各イベントは日時、内容等変更になる場合があります。

(1) アーティストトーク

出品作家・松岡歩(日本美術院特待)が作品解説を行います。

- ・講師 : 松岡 歩(日本美術院特待)
- ・日時 : 3月30日[土] 午後1時20分～(約30分)
- ・会場 : 企画展示室 ※要企画展チケット、申込不要

(2) 日本画体験実技講座

- ・講師 : 染谷香理(日本美術院特待・第29回[令和5年度]天心記念茨城賞受賞)
- ・日時 : 2月17日[土]～18日[日] 午前10時～午後4時
- ・会場 : 講座室 ※要企画展チケット、材料費、要事前申込(抽選制)
- ・定員 : 16名(2日間参加できる方)

(3) 展覧会担当者によるギャラリートーク

展覧会の見どころについて、会場内で解説いたします。

- ・日時 : 2月25日[日] 午後1時20分～(約30分)
- ・会場 : 企画展示室 ※要企画展チケット、申込不要

(4) ワークショップ「水辺の生き物を描こう」

マーブリングで模様をつけた紙に水辺の生き物を描きます。

- ・日時 : 3月9日[土] 午前10時～、午後1時30分～
- ・会場 : 講座室
- ・定員 : 各回20名程度 ※要企画展チケット、当日先着順

(5) オープンワークショップ「水辺の生き物で美術館を飾ろう」

水辺の生き物を作り、展望ギャラリーに飾ってみませんか。

- ・会場 : 展望ギャラリー ※無料、参加自由

(6) 貸ギャラリー展

2月23日[金・祝]～3月10日[日]

令和5年度茨城県移動展覧会「茨城の美術セレクション」

(7) 映画会

3月10日[日] : 「最高の人生のはじめ方」(2012年/108分/カラー/アメリカ)

- ・上映時刻 : 午前9時45分～、午後1時30分～
- ・会場 : 講堂
- ・定員 : 114名 ※当日受付先着順・事前予約も可

【広報用図版】 ※表紙の小林恒岳「越寒」も提供可能です。



横山 大観「秋」
明治32年頃(c.1899)
茨城県近代美術館蔵



小川 芋銭「水魅戯」
大正12年(1923)
茨城県近代美術館蔵



小林 巢居人「鮭」
昭和24年(1949)
茨城県近代美術館蔵



齋藤 彰男「悠」
平成17年(2005)
茨城県近代美術館蔵



松岡 歩「群生」
平成26年(2014)
茨城県近代美術館蔵



木下 千春「渦巻く」
平成31年(2019)
茨城県近代美術館蔵

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
- ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
- ・図版はデータでの提供となります。

広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL : 0293-46-5311 FAX : 0293-46-5711

E-mail : kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当 : 木澤 沙羅 / 広報担当 : 大津 友美

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。



当館HPへ